

一般質問



武 辺
議 員

○本市における防災対策の現状と課題について

質 第5次男女共同参画基本計画では防災会議の委員に占める女性の割合を早期に15%とし更に30%を目指すこととなっていますが本市の現状をお尋ねします。

防災課長 34人で構成される委員のうち2人が女性で、割合は5・9%です。

質 女性の割合の増加について、今後の予定をお尋ねします。

防災課長 市内各種団体の代表に構成委員として参加いただいています。が、今後の改選時に女性委員の推薦を働きかけたいと考えています。

質 要配慮者利用施設では避難確保計画を策定しなければならないとなつていますが、現状と計画策定における指導内容をお尋ねします。

防災課長 市内31施設のうち、11施設が策定済みです。未策定の施設については個別訪問を行い、国の指針に基づき、施設の形態、立地状況に応じた避難訓練の方法など、計画に記載する内容を説明しています。

質 保育所における避難に関する状況についてお尋ねします。

子育て・こども課長 令和3年度に避難情報発令時の保育施設等の対応基準を定め、警戒レベル3の発令時には登園自粛および休園の検討、警戒レベル4以上の発令時には臨時休園としています。

質 本年8月の台風10号接近時の避難場所として開設した小中学校では体育館に空調設備がないため校舎内避難でしたが、御厨中学校校舎は雨漏りが激しく避難場所としては使えません。また御厨公民館は避難所としての機能を発揮できないため開設されませんでした。現状をお尋ねします。

生涯学習課長 新しい公民館ができるまでの間、社会教育施設としての機能を維持できるよう適切に管理したいと思っています。

質 現御厨公民館は避難所としては使用しないということですか。

福祉事務所長 御厨地区においては優先順位を決めており、御厨小学校、御厨中学校、御厨公民館の順での避難所を予定しています。

質 女性視点での避難所環境整備について今後検討すべき点をお尋ねします。

福祉事務所長 長期的避難を考慮し、女性専用のスペースの確保と、女性のニーズに合ったものを女性職員等の意見を参考にし、より必要な備蓄品の拡充に努めたいと考えています。

一般質問



志 水
議 員

○市民のための医療体制について

質 医師の確保は右から左というわけにはいかず、非常に難しい問題だと思われませんが、なぜ青島診療所の常勤医師の募集をされないのか、地区の皆さまの理解が得られる説明をお聞かせください。

健康ほけん課長 松浦中央病院の開設により夜間の救急搬送を市内で受け入れることが可能となったことと、週2日の開設を行っており、1診療日当たりの患者数が令和3年度は14人、4年度は10人、5年度は7・9人と少ない状況から、常勤医師の募集は行っていないです。

質 今後、市民の安心できる医療体制を構築するため、救急艇の導入も一つの手段であると考えますが、市長の考えをお聞かせください。

市長 救急艇については、建造費や設備費が多額となることや、配置要員、交代要員等々、従事する人員の確保が相当数必要です。

理想的であるということは十分承知していますが、導入については現時点では難しいと考えています。

○松浦市公共施設等総合管理計画に基づき今後の方針について

質 公共施設の更新・運営におけるPPP・PFIといった民間活力の導入に向け、具体的にどのような実践計画を掲げているのか、お聞かせください。

会計課長 本市の公共施設等総合管理計画において、本庁舎やスポーツ施設、公営住宅を将来建て替える際の整備手法の一つとして記載をしているところです。

現在、これらの施設について、建て替えの予定はありませんが、将来施設整備が具体化していく中で、PPP・PFIの導入について検討することになると考えています。

質 解体工事に活用できる補助金等の財源や、新たな基金の創設の考えはないか、市長の考えをお聞かせください。

市長 基本的には、施設跡地を活用し、新たな施設を整備する際に充てることが可能となる補助金や、地方債などの有利な財源を利用すべきであると考えています。

また、民間企業などへ、解体処分まで含めて施設を譲渡するといったことも有効であると考えています。

単に一般財源を解体費用に充てるのではなく、施設ごとの状況を総合的に判断して、解体処分の費用・財源の確保に努めていきたいと考えています。